

第36号

とぽ〜と

— 発 行 —

社会福祉法人 焼津福祉会
焼津福祉会を支える会〒425-0088 静岡県焼津市大覚寺629
TEL(054)626-2839 FAX(054)626-2857
URL <http://www.yaizu-fukushikai.or.jp>

❖ 理事長挨拶 ❖

❖ 新年を迎えて 池ヶ谷 聡 ❖

昨今のような社会経済情勢の大変厳しい折、焼津福祉会を支える会の皆様をはじめ、大勢の市民の皆様や行政当局の、心温まるご理解、ご支援、心から深く感謝申し上げます。

法人経営については厳しい状況の中、経営の健全化に向けて更なる研究を進める中で、鋭意努力してまいりたいと考えております。

全国を見ましても、一法人が一施設か二施設を運営している社会福祉法人が大多数を占め、一法人五施設以上を運営しているのはわずかであります。この焼津福祉会で公益法人の責任者という自覚を持って、課題に向き合う真剣さを持ち将来のビジョンを持って多様な福祉需要に応えながら、先駆的で独創的なサービスを創造したり誘因して高めてゆく役割があると考えます。

地域で愛され、利用者の視点に立ったサービスの提供と、個人の尊厳を重んじた処遇のあり方等々を模索する中で、地域社会の中で根をおろし、地域福祉の増進に寄与してまいりたいと思っております。

今後とも、ご理解、ご協力のほど、切にお願い致します。

慈恵園



行ってきました。

空港では売店で面白い物を楽しんだ後、3階の展望デッキから飛行機を眺めました。停まっている飛行機を見て「わーっ見て」との声。離陸するときは、「今進んだー!それ、今から飛ぶよ、飛んだー!」と実況中継までして大興奮でした。空港を後に、そば処「ゆくら」で思い思いの昼食を摂り、お腹いっぱい。

当初予定していた日は台風で延期となり、11月5日、「富士山静岡空港」と「金谷お茶の郷」に

お茶の郷にある博物館では、中国に実在する樹齢八百年の巨大な茶樹を見てビックリし、

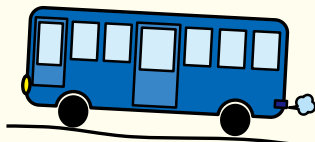
日帰り旅行

ゆたか



ゆたかでは、年に一度日帰り旅行へ出掛けています。今年は春と秋のグループに分かれ、掛川花鳥園に出掛けました。

今回、秋のグループは天候にも恵まれ、暖かい陽気の中出掛けることができました。花鳥園での食事は、天井にキレイな花がたくさん飾られている会場でのバイキング。柵の向こうから鳥の声も聞こえ落ち着いた雰囲気の中で、食べ



「今度は、飛行機に乗って旅行に行きたいね」外国へ行ってみたいね」など、車の中で話をしながら帰ってきました。

たいものを自分で楽しく選んで食べました。食後は鳥たちが飛び交う広い通路を散歩。色々な種類の鳥とふれあい、写真撮影をしたり、自由に飛んでいく鳥たちに驚いたりしました。また、鷹のショーを見て盛り上がり、普段できない刺激的な体験をたくさんしてきました。

楽しい余暇時間

ゆりかもめ

ゆりかもめでは、利用者さんのペースに合わせ集団や個別の活動に取り組んでいます。食後の昼休み時間は、利用者さんが興味のあることや好きなことを楽しむ余暇時間です。取り組む内容は、パズル、雑誌を見る、音楽を聴く等一人で取り組むものから集団で楽しむものなど様々です。みんなで言う、カラオケは人気があり、歌曲は童謡から演歌、好きな歌手の歌等幅広く、昼休みのゆりかもめからはにぎやかな声が聞こえています。

余暇の時間を豊かに過ごせることは、将来安定した生活を過ごすためにとても大切なことです。また、好きなことをして過ごす、楽しい時間があることによって、散歩や作業等日々の活動への意欲につながっているように感じます。



(3)



大井川

利用者の活動の一つに、園芸クラブがあります。生活棟横にある畑で、毎年主にサツマイモの栽培をしています。今年はサトイモにも初挑戦しました。

春の土作りから始まり、夏の暑い中でも草取りや水まきを欠かさず行い、肥料の追加などをしながら大事に育てます。そして、いよいよ秋に収穫する時には、作物との対面にドキドキ。大きなおイモが土から現れると、皆さんの「それだよ」「大きいよ」という楽しそうな声と笑顔が見られます。収穫されたおイモは給食や調理クラブで調理され、おいしくいただいています。

さて、今度は何を育てて食べましょうかと、早くも皆さんで考えています。

園芸クラブ

大井川寮

日々の活動

花・はな



「花・はな」では、さまざまな活動を通して、身体にハンディのある方が充実した一日を過ごしています。

午前中は、主にレクリエーションを行います。カーリングやゲーブルゲーム、ボウリングなどが人気です。時には思うようにいかないときもありますが、何度も工夫しながら挑戦し上手にできた時には、思わず笑顔になり本当にうれしそうです。

午後の活動は、機能回復訓練室での運動や創作活動、パソコンなど一人ひとりの希望を取り入れた活動をしています。

他の利用者の方との交流によって、心身の活性化や機能回復にもなります。活動の一つひとつがリハビリになり、楽しく時間を過ごしています。

オリジナル製品のご案内

虹の家

1234567890

利用者さんが心をこめて作った製品を販売しています
新しいアイデアの中から生まれたオリジナルな製品を是非どうぞ!!

すいせん

1234567890



虹の家では、縫製作業を行っています。7名の利用者さんがミシン・手縫いに分かれて様々な製品作りに励んでいます。ミシンではぞうきん、巾着、お弁当袋など定番の製品からバックやエプロンなど大きな製品にも取り組んでいます。手縫いの利用者さんはパッチワーク・刺し子などを行っています。

10月に行われた国民文化祭では、鯉縹を使った巾着袋を作成し、また現在では鯉縹を使ったバックなどの注文を受けることが多くなりました。このような活動を通して、利用者さんの作業技術も向上しています。

公民館や保健センターなどでも虹の家の縫製品を販売しています。ご希望に応じて柄やサイズを選ぶことが出来ます。



すいせんのオリジナル自主製品は、利用者さんが分担し力を合わせて作っています。そんな一例「木工ブローチ」や「木工パズル」が

出来るまでを紹介します。糸鋸を器用に使い型を切っていく利用者さん、やすりがけに熱心に取り組む利用者さん、ニスを丁寧に塗る利用者さん、どれも欠かせない作業工程です。焼津市の民俗芸能「藤守の田遊び」をモチーフにした田遊びストラップも利用者が各工程をこなすことで、ひとつの製品ができあがっています。「出来上がった物を見て笑顔になれ、喜びがある」それが自主製品作りのやりがいであると思います。



生産活動

ワークすばる

近隣の企業からの請負作業が生産活動の中心となっています。現在は、鯉節の袋詰めや箱詰め、だしパックや液体調味料のラベル貼り、化粧箱の組立、玩具の解体作業、配線導線作業、金属部品組立と様々な作業をいただいています。

開所当初と比べると、作業の種別によっては細かな資材を組み合わせて一つの製品を完成させるという作業が増えてきました。そのため、利用者さんの特性や適性を活かした作業配置を行っています。衛生面の配慮として利用者さんに作業用の帽子を着用してもらいます。特に食品関係の作業については衛生面に配慮し、髪の毛一本まで資材に入らないよう確認を行っています。

近年は不況のあおりを受けて作業の受注も伸び悩む時期もありますが、作業方法を工夫し受注作業が増えるよう努力していきたいと思っています。

就労の取り組み

ワークすばるでは就労の希望がある利用者さんに対して就労支援を行っています。ハローワーク主催による障害者合同就職面接会に参加したり、様々な求人情報の中から希望する求人がある場合に企業側と面接を行います。採用枠は若干名のため採用に至るまでは難しいことありますが、就労という目標に向かって社会のルールやマナーを身に付け日々頑張っています。



すいせん

野菜の皮むき、乾物加工、箱折り、自動車部品の組み付け、携帯用充電器の補助作業、各種雑貨の袋・箱詰め等受注作業を中心に生産活動を行っています。

利用者さんは帽子、作業着を着用し作業によっては粘着ローラーをかけ、マスク、手袋をして行う作業もあります。不良品を出さない、納期を厳守することはもちろんですが、行う作業の特性を理解し、治具の開発、作業姿勢（立位・座位）、作業資材・備品（カゴ・テープカッター等）の配置等に配慮し作業を行っています。

また、行う工程を変更しながら、一人で多くの工程を担当することができるよう支援しています。



虹の家

一般企業より鯉節やお茶のパッケージシール貼り、洗濯ピンチやフックの組み立てなどを受注しています。牛乳パックの回収では、職員と利用者さんが市内スーパーを回り牛乳パックを回収しています。また、縫製作業では巾着やバックなどを自主製品で作っています。利用者さんの得意な分野を生かしつつ、一人ひとりにあった作業を提供し取り組んでいます。



(5)



これから地域の子どもやお母さんが、安心して乳幼児期を過ごし、次のステップに踏み出せるような支援を行っていきます。

昭和51年に法人最初の施設として現在の「ポプラ学園」を開設しました。当時は義務教育化されていない就業猶予のあった時代でもあり、18歳までの児童が通園していました。

現在では、未満児から年長さんの園児が、年齢や発達に応じて3クラスに分かれ療育を受けています。また、保健センターと協力しながら未就園児を対象とした「親子教室」や幼稚園・保育園に通う園児で小集団での丁寧な支援が必要なお子さんを対象にした「並行通園」も実施しています。

ポプラ学園より

安心して
子育て
できるように



地域療育を高めるために



ポプラ学園では、「地域療育を高めるための研修会」を行っています。これは子どもたちが毎日の生活を安心して楽しく過ごせるように地域の幼稚園・保育園の先生や関係機関が集まり、幼児期に関わる地域の支援者の理解を深めたり、お互いの良い関係づくりをめざして毎年行われているものです。



本年度は、ポプラ学園の定期通園部で行われている療育の様子を紹介し、その後『幼稚園・保育園でできる発達障がい児支援について』と題し、静岡県立こども病院の言語聴覚士である北野市子先生より講演をいただきました。ことばを育むためには、人との基本的な信頼関係や生活習慣、環境や体験がまず大切であること、幼児期は変化が大きい時期だからこそ周囲の働きかけが重要であるとお話がありました。



より丁寧な子育て支援をめざして

昨年10月、静岡県の各通園施設が実行委員となり、児童通園施設をはじめとする全国の児童デイサービス事業所が一同に集い全国大会が静岡で開催されました。全国各地の療育システムについて学び合いながら自分たちの地域における課題を見直しました。また、厚生労働省の方より講演を聞き、今後の方向性を確認しました。

ポプラ学園も現在「障害者自立支援法」の枠組みの中で療育サービスを行っています。今回の大会で、児童通園施設は児童福祉法を基本に子どもたちの最善の利益が守られるべきであるという意見もありました。

今後、どのような方向に向かうのか現段階では不透明さがありますが、支援を必要としている子どもたちの最善の利益が守られるよう、子ども一人ひとりのあらわれをよく見守り、保護者の方の思いを汲みながら、声をあげていきたいと思っています。



生活支援センター

わおん

平成二十一年三月、地域の障害福祉に関するシステムづくりを協議するための「焼津市障害者自立支援ネットワーク」（障害者自立支援法における障害者自立支援協議会）が設置されました。年二回の全体会と月一回の事務局会議、各障害別支援連絡会、随時開催される個別支援会議で構成されています。各会においては、顔の見える連携がとれることを第一の目的に、関係機関同士の役割の再確認、情報交換

割の再確認、情報交換

換を行い、地域にお住まいの障がいを持つ当事者の方々のニーズを探りそれらのニーズを地域の福祉課題として捉え、整理、検討などを行います。

九月には、今年度第一回の全体会が行われ、焼津市内の障がい児者の概要報告、相談支援事業者の活動状況報告、各障害支援連絡会の報告と協議内容から見える福祉課題について報告が行われました。

生活支援センターわおんは、相談支援事業所として、焼津市自立支援ネットワークの運営（事務局）に携わり、主に知的障害者支援連絡会の企画、調整、運営を担っています。現在は、市内の通所福祉サービス事業所（四法人九事業所）の管理者（サービス管理責任者）が集まり、意見交換などを行いながら連携を図っています。

今後は、障がいをお持ちの方々が、安心して焼津で生活できるよう、さらなる福祉課題の整理と検討、課題解決に向けての情報発信や提案などに取り組んでいきたいと思っています。

地域生活を支える 各事業所の 取り組みの紹介

放課後児童クラブ

色えんぴつ・くれよん

焼津地域にある11の学童保育の指導員が集まって、情報共有や勉強会を行う「焼津市学童（焼津地域）指導委員会」に今年度から放課後児童クラブ色えんぴつ、くれよんの職員も参加しています。



これは、子ども達や親を取り巻く環境が多様化しているため、情報を共有し連携を深めていくことを目的としています。この指導委員会は、毎月1回各学童持ち回りで行っています。各学童が抱えている問題点や悩みはそれぞれですが、共有していくことで一つのクラブで抱えていくよりも、また新たな視点でみていくことができるので、いい刺激となっています。

今、発達障がいや知的障がい児も地域の学童を利用しているため、多種多様な支援が学童でも求められて

います。地域としてみんなで支えていく方法を指導委員会で様々な視点から模索しています。



グループホーム・ケアホーム

すぴか・こすも

今年度より、焼津市内の「(NPO法人)空と大地と」グループホーム・ケアホームしおさいとの本人部会、世話人部会を隔月で開催しています。

○本人部会

- ① いろいろなグループホームのことを知りたい。
- ② いろいろな仲間（グループホーム入居者）の生活を知りたい。
- ③ 仲間をつくりたい。

など、入居者より様々な意見がでるようになってきています。限られた中での生活をしてきた入居者にとって、職員や法人の仲間以外の人との関わりは他の暮らしを知るだけではなく、希望や夢を持つきっかけにもなっています。また、余暇においては「しおさい」の仲間と他市へ遊びに行くなどのお付き合いも始まっています。

○世話人部会

- ① 入居者さん1人ひとりに寄り添った支援、暮らしを支えていく為に職員全員が情報を共有しています。また、他のホームの良い点を支援の参考にしよう意見を出し合っています。
- ② 法人の垣根をこえたところで、お互いを知り情報交換や啓発、アイデアを形にしていける情報発信地となっていくような話し合いをしています。



みんなの心

《寄付金・寄付物品》協力者》

青島ポンプ工業(株)

アトリエMOMO

池谷金苗

石川志郎

石原十四男

医療法人社団駿中会「ミニティ・ホスピタル」実習病院

梅原吉弘

海老岡里己

大石裕子

川根本町女性の会

キラキラビレッジ直売所

小林寿江

サロン穂高

島活会館(中野祐二・中野希仔子)

白石明美

(株)鈴勝

高塚澄

特別養護老人ホームつばさ

なすび

(株)日本たばこ産業

早川玲子

福村孝子

松浦将孝

武藤裕子

村瀬美寿易

焼津市仏教会

焼津スポーツクラブ

焼津ライオンズクラブ

藪崎阿希子

山田篤史

山田しず江

若杉憲一

《ご招待》

(株)アウトソーシング(サッカー試合)

大井川高校(文化祭)

大井川吹奏楽団(定期演奏会)

木下大サーカス(サーカス)

スナックエリカ(歌謡・舞踊ショー)

《ボランティア》

青木恵子 青島実来

明るい社会づくり運動焼津地区協議会

有ヶ谷晴代 池谷佳代子

池端友哉 石川志郎

石田詩織 石野那代

伊東夏子 伊藤舞香

伊藤梨菜 大石かおる

太田良由美 大橋道代

大村公民館民謡教室

岡田修輔 岡本千沙季

小川昌美 小川道興

小澤みつ子 落合あさ子

落合圭子 梶山信之

片山さち枝 加藤雄一

金田雅行 河原崎香子

河原崎秀子 けい美容院

小池美知子 小坂橋道代

後藤博 小林紀子

小林美樹 近藤清

三枝由梨奈 坂野和子

佐藤智保

静岡家庭教育サポート協会

静岡銀行黒潮会

静岡県眼鏡商業組合

静岡会

正傳院住職 畑中道雄

シンパ時計店

新村竜也

鈴木幸子

鈴木幸江

高橋慶子

田中操

津波寿貴

日赤奉仕団

萩原佳子

長谷川明日香

ひまわりの会

ビューティー・ハラキ

ボランティア21 堀川ふさ子

蒔田吏江

松永洋子

三輪淑乃

村松勝巳

望月美代子

焼津市児童民生委員

焼津美穂

山田伊織

山田要治

横山勝代

杉山安代

鈴木智大

すみれの会

多々良郁代

塚崎喜美雄

中野富士恵

萩原久代

橋本雄介

原川洋子

(平成21年6月から

平成21年11月まで)

(以上敬称略)

お知らせ
コーナー

シンポジウム開催！

「地域で暮らしつづけることを考える」をテーマに、認知症であっても、障害があっても、住み慣れた地域で暮らしつづけることができるよう、介護保険と障害福祉が手と手を取り合える地域の仕組みづくりをするために、焼津市内での現状と今後の支援のあり方について考えます。

地域の皆さんが大きな社会資源です！難しく考えず、楽な気持ちで、少しでも構いませんのでこのシンポジウムに顔を出してみてください。

日時：平成22年1月31日(日曜日)
10時～16時30分

*入退場は自由。関心のあるテーマのみでの参加でも構いません。

場所：焼津市総合福祉会館ウェルシップやいづ3F多目的ホール

対象：地域生活に関心のある当事者・保護者・関係機関職員・一般市民

費用：無料

【問合せ・申し込み先】

(社福)焼津福祉会 生活支援センターわおん(村松)

TEL：054-626-2877 / FAX：054-626-2871 / E-mail：supika6281326@yahoo.co.jp

地域で暮らしつづけたい!!



地域は一人一人の応援団

焼津福祉会を支える会だより

支える会に
ご理解とご協力を

焼津福祉会を支える会々長

五条 光男

平成22年の新春を迎え、年頭に
当って今年はいよいよ年でありますよ
うにと念願するものであります。
常日頃焼津福祉会を支える会のた
めに、御理解、御協力をいただき
有り難うございます。私達の周囲
には、障がいを持つ人達が大勢居
られます。そうした人達のために、
少しでも役に立ちたいものと、支
える会に御入会をいただいております。

私達の支える会は、焼津福祉会
の事業に対しての後援活動であり
まして、そのためには会員として
は、法人と個人とがあり、個人は
一口五〇〇円以上、法人の場合は、
五〇〇〇円以上となっております。会
員。現在大勢の皆さん方に、会員



になっていただいておりますが、
更に会員を増やしてゆきたいもの
と思い、一人でも多くの人に会員
になっていただければと、念願す
るものであります。
この頃の社会の中では、いろい
ろな事件が起こったりしますが、
今年は特に明るい社会であります
ように、健康者と障がい者が心を
合わせて、明るい社会の建設に向
かって、進んでゆきたいと思
います。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

お陰様で「さぼ〜と」の第36号を発行することとなりました。皆様のご協力に感謝いたします。

今号の表紙はたくさんの笑顔で溢れています。現在「笑い」は免疫力の活性化や自律神経をバランス良く働かせるといった研究報告から、医療現場等でも注目されています。

寒い日が続き、暗いニュースも多くありますが、風邪も不安も笑顔で吹き飛ばし、皆様の笑顔が健康に繋がり、より多くの人々に幸せを運ぶことをお祈り申し上げます。

これからも地域の皆様のご理解ご協力をいただきながら、より一層、福祉事業への努力をしてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(Y・K)

お知らせ

第17回 焼津福祉会作品展

施設利用者の作品をより多くの皆様に見ていただきたいと思ひます。

是非ご来場ください。

日時 平成22年2月19日(金)～23日(火)

開場 焼津市ふれあいホール「エコリオ」

時間 午前9時～午後5時
(最終日は午後3時まで)

内容 絵画、書、手工芸他

